



第6回

神戸女子大学看護セミナー

\Theme/

コミュニティ・オブ・プラクティスは 看護職をどう育むか

看護師には、現在、保健・医療・福祉等さまざまな場において、複雑な状況を判断し、ケアを提供できる能力が求められています。本学ではそのような力を育むための仕組みとして、コミュニティ・オブ・プラクティス(実践コミュニティ)の考え方をとり入れた授業「学びのグループゼミ」を、看護基礎教育に組み込みました。「学びのグループゼミ」で学生は、実習体験を共有しながら安心して学べる場を自分たちで創り上げ、自身の存在や経験を問い直して意味付け、次の学習の糧にしていくという学びをしていました。これは、一般的な知識提供型の学習とは異なる学び方です。

この学びを得た学生が、卒後どのように臨床の現場で活躍をしているのか、本学の卒業生にインタビューを行いました。その結果を振り返り、コミュニティ・オブ・プラクティス(実践コミュニティ)は看護職をどのように育てていくのかについて考察していきます。



令和4年2月23日(水) 10:00~12:00 オンライン開催(Zoom)

パネルディスカッション「コミュニティ・オブ・プラクティスは看護職をどう育むか」

座長／**玉木 敦子** (神戸女子大学看護学部 教授)

パネリスト／**神戸女子大学看護学部卒業生**

松本 雄一 (関西学院大学商学部 教授)

野並 葉子 (神戸女子大学看護学部 特任教授)

元木 絵美 (神戸女子大学看護学部 講師)

参加費
無料
(定員200名)

申し込み方法

参加をご希望の方は、QRコードを読み取り、申し込みフォームにてお申し込み下さい。



Zoomアクセス方法

参加申し込みを頂きますと、自動でZoomのIDとPWが送信されますので、そちらよりアクセスして下さい。

申し込み締め切り日

令和4年2月22日

第6回 神戸女子大学看護セミナー

[テーマ] コミュニティ・オブ・プラクティスは看護職をどう育むか

プログラム

- 10:00 開会の挨拶
神戸女子大学看護学部 学部長 洪 愛子 教授
- 10:10～12:00 パネルディスカッション
「コミュニティ・オブ・プラクティスは看護職をどう育むか」
座 長 / 玉木 敦子 (神戸女子大学看護学部 教授)
パネリスト / 神戸女子大学看護学部卒業生
松本 雄一 (関西学院大学商学部 教授)
野並 葉子 (神戸女子大学看護学部 特任教授)
元木 絵美 (神戸女子大学看護学部 講師)
- 12:00 閉会

講師紹介

関西学院大学 商学部
教授 松本 雄一

神戸大学大学院経営学研究科 博士後期課程修了。北九州市立大学 経済学部 経営情報学科 助教授、関西学院大学 商学部 准教授を経て、同大学 商学部 教授に就任。

「人はどのように仕事に必要な能力を身につけていくのか」を研究テーマに自治体や介護施設、陶磁器産地などにある実践コミュニティを調査し、「熟達学習」や「循環的学習」などスタイルの異なる学習が実践コミュニティの発展やそこでの学習を促進していることを明らかにした。実践コミュニティへの参加が、なぜ人の学習動機を向上させるのかを分かりやすく考察した著書『実践共同体の学習』は、2019年度日本経営学会賞(著書部門)研究奨励賞を受賞している。

神戸女子大学 看護学部
教授 玉木 敦子

兵庫県立看護大学大学院 看護学研究科 博士後期課程修了。病院勤務を経て、大学にて精神看護学教育に携わり、平成27年度より神戸女子大学 看護学部 看護学科教授に就任。平成31年度からは同大学大学院 看護学研究科 教授、令和2年度に同大学看護学部 学科主任に就任。現在は周産期メンタルヘルスにかかわる研究、コミュニティ・オブ・プラクティスの考え方を取り入れた学びのグループゼミの研究に取り組んでいる。

神戸女子大学 看護学部
特任教授 野並 葉子

兵庫県立大学にて慢性看護学の研究・実践・教育(高度看護実践者の育成)の体系化および構築に取り組む。平成27年度より、神戸女子大学看護学部長として就任。令和2年度に同大学特任教授に就任。本学開学時、コミュニティ・オブ・プラクティスの考え方に基づいた学びのグループゼミをカリキュラムに取り入れた。

神戸女子大学 看護学部
講師 元木 絵美

兵庫県立大学大学院 看護学研究科 成人看護学専攻 博士前期課程修了後、病院で慢性疾患看護専門看護師として活動し、関節リウマチ患者の療養支援や、療養支援の体制づくりを行ってきた。平成27年度に、本大学看護学部看護学科の講師に就任。大学では、コミュニティ・オブ・プラクティスの考え方を取り入れた学びのグループゼミの研究に取り組んでいる。